

# 平成 29 年度ユネスコスクール年次報告書

## 1. 学校概要

学校名 長岡市立南中学校 (※正式名称を記載)  
種 別 ☐ 保育園・幼稚園 ☐ 小学校 ☐ 小中一貫<sup>※注1</sup>  
☒ 中学校 ☐ 中高一貫<sup>※注2</sup> ☐ 高等学校  
☐ 教員養成大学 ☐ 専修学校、各種学校  
☐ 特別支援学校  
☐ その他 (例: 小中高一貫 )  
※注1 義務教育学校を含む ※注2 中等教育学校を含む  
所在地 〒 940 — 0081  
新潟県長岡市南町2丁目1番1号  
E-mail j02minami@kome100.ne.jp  
Website http://www.kome100.ne.jp/minami-jhs/  
幼児児童生徒数 男子 215 名 女子 240 名 合計 455 名  
幼児・児童・生徒の年齢 12 歳～ 15 歳

## 2. 報告期間

平成29年4月～平成30年3月

※報告書提出時点～平成30年3月末までの活動は、予定(見込み)として記載ください。

## 3. 活動内容

※記入にあたっては、末尾の留意事項も確認ください。

### (1) 活動の概要

当校は「自主と協和の精神に富んだ、社会に役立つ勤労人となりましょう」を教育目標として、ESD(持続発展教育)の実践を通して、異なる考え方や文化との積極的な交流を通して、自らの考え方や文化を再認識し、互いに尊重したり互いのよさに学ぼうとしたりする態度の育成を目標にした。

具体的には、環境教育、国際理解を柱に、①自然との共生に関わる活動、②貧困削減に向けた取組、③世界平和に向けた活動を行った。

#### ①自然との共生に関わる活動

ア 花テラスボランティア: 緑化委員会を中心に学区内の緑化センターや長岡駅前で、花壇づくりや花がら摘み等を行っている。

イ 長岡花火清掃ボランティア: 長岡まつり翌日の早朝に、会場周辺の清掃活動を行い、自然環境の保全に努めた。

ウ グリーンカーテン: 教室温度の上昇の抑制とともに植物の蒸散作用によって周囲を冷やすことが期待できる。緑花委員会を中心に枯れないように工夫して栽培した。

エ クリーン作戦: 学校周辺のゴミ拾いや落ち葉拾いを行い、身近な環境について考える機会としている。

オ ゴミ削減運動: 学級内にゴミ箱を設置せず、自分の出したゴミは自宅に持ち帰ることによりゴミ削減の意識を醸成している。

## ② 貧困削減に向けた取組

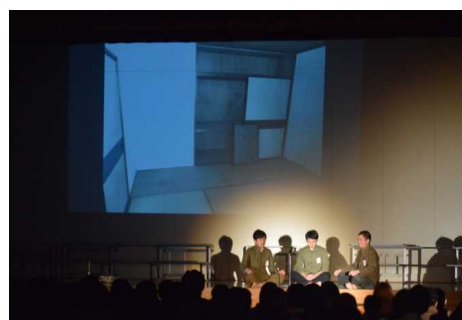
ア インカートリッジの回収：長岡市民センターの地球広場を通して、貧困地域の学費や食費に当てられている。毎年約１００個を回収している。

イ ベルマーク回収：ベルマーク協会を通じて、学校備品を購入したり、友愛援助事業に寄付したりしている。毎年約３万点を集めている。

ウ 古紙回収：教室ごとに古紙回収袋を設置し、教室で出た古紙を回収している。回収された古紙は、再生可能紙として市の委託業者が回収している。

## ③ 世界平和に向けた活動

２年生の総合的な学習の時間に平和学習を行っている。戦争体験者から御講演をいただいたり、修学旅行で広島へ行って地元の中学生とパネルディスカッションを行ったりと、戦争と平和について学んでいる。見て、知って、行動することにより、学習したことや後世に伝えたいことを「平和劇」として表現している。



## (2) 活動の詳細

### ① 活動内容

#### ア. 活動分野（複数選択可）

<input checked="" type="checkbox"/> 1. 環境	<input type="checkbox"/> 2. エネルギー	<input type="checkbox"/> 3. 防災	<input type="checkbox"/> 4. 生物多様性
<input type="checkbox"/> 5. 気候変動	<input checked="" type="checkbox"/> 6. 国際理解、文化多様性	<input type="checkbox"/> 7. 地域の伝統文化、文化遺産	<input checked="" type="checkbox"/> 8. 人権・平和
<input type="checkbox"/> 9. 健康・福祉	<input type="checkbox"/> 10. 食育	<input type="checkbox"/> 11. 持続可能な生産と消費	<input checked="" type="checkbox"/> 12. 貧困
<input type="checkbox"/> 13. エコパーク	<input type="checkbox"/> 14. ジオパーク	<input type="checkbox"/> 15. グローバルシチズンシップ教育 (GCED)	
<input type="checkbox"/> 16. ジェンダー平等	<input type="checkbox"/> 17. その他( )		

イ. 活動を通して育みたい資質や能力（複数選択可）

<input type="checkbox"/> 1. 批判的に考える力	<input type="checkbox"/> 2. 未来像を予測して計画を立てる力
<input checked="" type="checkbox"/> 3. 多面的、総合的に考える力	<input type="checkbox"/> 4. コミュニケーションを行う力
<input type="checkbox"/> 5. 他者と協力する態度	<input checked="" type="checkbox"/> 6. つながりを尊重する態度
<input checked="" type="checkbox"/> 7. 進んで参加する態度	
<input type="checkbox"/> 8. その他（自由記入	）

ウ. 活動時間（複数選択可）

<input type="checkbox"/> 1. 教科の時間	<input checked="" type="checkbox"/> 2. 総合的な学習の時間
<input type="checkbox"/> 3. 特別活動等	<input type="checkbox"/> 4. クラブ活動
<input checked="" type="checkbox"/> 5. その他（自由記述	時間外活動の時間を使用

エ. 使用した教材（書籍、ウェブサイト、パンフレットなど具体名）

特になし

- ② ユネスコスクールとしての活動を各校の教育課程（指導計画）にどのように位置付けているか。指導内容を適切に定め、指導方法の工夫改善に努めているか。（200～300字程度）

本校では、ユネスコスクールとしての活動を、国際理解教育の指導の重点の一つとして位置付けている。地域貢献活動の一環として、生徒会活動の中で、「花テラスボランティア」「長岡花火清掃ボランティア」などの「1人1ボランティア」という取組を行っている。全校生徒がボランティア活動に関わる機会をもつことで、意識の向上につながっている。また、2年生の総合的な学習の時間に行っている平和学習では、体験学習として、広島原爆被爆体験者や長岡空襲体験者から講話を聞くなどする中で、平和に関する考えを深め、今自分にできることは何かを考える場としている。

- ③ 学校全体で組織的かつ継続的に活動に取り組める体制や環境をつくるため、どのような取組を行っているか。（200字程度）

ユネスコスクールとして継続的に活動を行っていくために、生徒会執行部では中学校オリジナルのユネスコキャラクター（ゆねすこん）を考え、生徒玄関に活動内容を掲示している。また、キャラクターを入れたベストを作成し、多くの教育活動で着用し、ユネスコスクール活動を意識し続けられるようにしている。ESDを推進していくために、自校の取組をインターネットを通じて世界中の学校に発信したり、交流できる体制を整えている。

- ④ ユネスコスクールとしての活動の質の向上のための学校活動の評価（内部／外部）の方法・具体的内容と、それによって明らかになった成果と課題。（２００字程度）

年度末に行われる学校評価の中で、ユネスコスクールとしての活動の振り返りを行った。ボランティア活動、リサイクル活動、平和学習など、どの取組も生徒の意欲が高く、評価も高かったが、それらがユネスコスクールとしての活動であるという生徒、教師の意識はあまり高くなかった。来年度は、生徒がＥＳＤの意識をもって活動を行っていきけるように工夫していく。

- ⑤ ＥＳＤの推進拠点としての活動成果の発信方法・内容と、発信により得られた効果。（２００字程度）

清掃活動等のボランティア活動や平和学習の様子については学校だより等、各種たよりで積極的に情報発信しており、年度末の学校評価アンケートでも「学校は、生徒の活動の様子や問題点などを各種たよりや説明会などで分かりやすく伝えている」の項目で「あてはまる」「どちらかと言えばあてはまる」の合計が９０％以上（評価基準Ａ）になった。来年度も積極的に地域・保護者に情報を発信し、信頼される学校づくりを目指したい。

- ⑥ 学校以外の団体との協働・交流・ネットワーク形成（地域コミュニティ、大学、ＥＳＤ活動支援センター、ＥＳＤコンソーシアムとの連携など）（２００字程度）

地域貢献活動を行っていくうえで関係団体との協力・連携は不可欠である。特に花テラスボランティアでは、学区内の緑化センターと細かく仕事内容についての打合せを行った。緑化センターや長岡駅前では花壇づくりや花がら摘み等を行い、地域に貢献している。活動に参加する生徒の意欲を高め、目標を明確にもたせられるように、どの活動においても渉外をきちんと行っていく必要がある。

- ⑦ 国内外のユネスコスクールとの交流・ネットワーク形成（２００字程度）

現段階での交流実績、ネットワーク構築に向けての取組ともに特になし。

- ⑧ ユネスコスクールの活動による効果について、特筆すべき（特に強調したい）内容（例えば児童生徒、教員、カリキュラム・教授法、学校経営、地域・保護者との関係など様々な面でのポジティブな変化）（200字程度）

前述の通り、地域貢献活動の一環として、生徒会が中心となって「1人1ボランティア」という取組を行っている。全校生徒が最低1つはボランティアに係わることで、学校全体として意識を高めることができた。

また、2年生で学習する平和学習のまとめとして年度末に「平和劇」を上演している。戦争や平和に関する他者の意見を聞くことで学習を深め、毎年見ごたえのある「平和劇」として表現しており、劇を鑑賞した地域・保護者からは毎年高い評価を受けている。

- （3）平成30年度の活動計画（200～400字程度）

例年通り、環境教育、国際理解を柱に、①自然との共生に係わる活動、②貧困削減に向けた取組、③世界平和に向けた活動を行う。

ア 自然との共生に係わる活動

花テラスボランティア、長岡花火清掃ボランティア、ゴミ出しボランティア、クリーン作戦

イ 貧困削減に向けた取組

インクカートリッジの回収、ベルマーク回収、古紙回収

ウ 2学年での平和学習

また、生徒会本部考案の南中学校オリジナルユネスコキャラクター「ゆねすこん」「たねねん」を活用し、ユネスコスクールとしての活動を校内外にアピールしていく活動を増やし、意識の定着を図りたい。